

《ヒアリング対象事業(2事業)》

No.	宣言・分野	倍増プラン事業名	平成21年度達成度		平成22年度達成度		平成23年度達成度	
			外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価
15	2 市民・自治	市民活動を推進するための「マッチングファンド制度」を創設します。(2年以内)	外部評価 b	内部評価 b	外部評価 C	内部評価 C	外部評価 C	内部評価 C
60	8 地域間対立を越えて	大宮駅東口再開発は、東日本の玄関口として経済・商業都市としての機能を高める開発を推進します。(4年以内)	外部評価 b	内部評価 b	外部評価 C	内部評価 C	外部評価 C	内部評価 C

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
市民・自治	15	市民活動を推進するための「マッチングファンド制度」を創設します。	2年以内	・平成21年度末までに、市民活動を推進するための「マッチングファンド制度」を創設します。 ・平成24年度末までに、市民活動に対する支援を22件実施します。	助成事業実施件数7件	助成事業実施件数4件	C	助成事業件数が目標に達しないことから、「C」と判定した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	C	件数が少なかった為。	長野委員	C	助成事業件数が当初予定を下回ったため、「C」と置きし、以下の項目への説明を踏まえ、確定としたい。 1)平成23年度当初予算に対する事業費充当率 2)課題として挙げられている「提案力を高めるためのコーディネート」とは、所管課としてどのような趣旨を意図されているのか。
河西委員	C	周知もまだまだの段階といった印象です。大きな成功もまだ少ないようなので市民の意欲や想像力に働きかけられ所までは至っていないという印象です、	橋本委員	C-	未達のため。 前年に続き、達成できていない点は早急に対応しなければならない。NPOや市民活動は活動への補助金等は活用したいと考えているはずではないか。どうしてマッチしないのか？
木島委員	C	昨年度に引き続き遅延。	廣瀬委員	C	制度はできたが、ニーズとのずれがあるのではないか。その分析はどう進められたか？
栗原委員	b-	9事業の応募を精査した結果の4事業であり、いたずらに助成をすればいい、という話でも無い事から。	福崎委員	C	周知を拡充し、応募数が増えることで、助成に足る事業も増えてくると期待する。
須藤委員	C	目標大幅未達につきC評価。	星野委員	C	目標に遅れが生じていると評価します。
高木委員	C	助成事業実施件数が目標を下回ったため。	町田委員	C-	実施件数が半分の実施ということで予定どおり進捗しなかった結果を評価 基金を設置し、基本的な運営基本方針を定めたているにも関わらず、達成できなかった原因を追求することが必要です。前年度も予定を満たさなかった事業です。
高島委員	C	内部評価と同じ理由です。	三浦委員	C	平成22年度と同じ課題を抱えている。 助成事業件数だけを目標値としたまま、平成24年度未達成でよいのか。新たな目標設定が望まれる。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
地域間対立を越えて	60	大宮駅東口再開発は、東日本の玄関口として経済・商業都市としての機能を高める開発を推進します。	4年以内	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度末までに、大宮駅周辺公共用地利用基本計画を策定します。</li> <li>平成23年度末までに、大宮駅東口駅前広場用地の買収を開始します。</li> <li>平成24年度末までに、氷川緑道西通線用地の100%取得及び大門町2丁目中地区再開発組合の設立を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①大宮駅周辺公共用地利用基本計画の策定</li> <li>②大門町2丁目中地区再開発基本計画案の作成等</li> <li>③氷川緑道西通線の用地取得</li> <li>④大宮駅東口駅前広場整備の事業化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①★基本計画の検討・調整</li> <li>②★基本計画案の検討・調整</li> <li>③用地取得</li> <li>④★権利者等との協議</li> </ul>	C	平成23年度の事業計画に一部遅れが生じていることから「C」と判断しました。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	C	計画が遅れていると判断。	長野委員	C	当初目標にある計画の策定や、事業課には到らず。
河西委員	C	時間がかかり過ぎると社会情勢も変わります。スピードアップを真ん中において推し進めてください。	橋本委員	C	未達のため。 このような事業に関しては金・時間・手間がかかるので、計画に対してズレが生じるのも理解できる。
木島委員	d-	H23年度主な目標4つのうち、3つが遅延しており遅延。さらに、昨年度も遅延しており、ヒアリングにおいては遅れを取り戻せるとしていた案件でありながら、連続して遅延している。評価委員会が提言した「遅延しているものに対する対策」が行えていないためマイナス評価とする。	廣瀬委員	C	いずれも基本計画の策定作業から先に進めていないので、cと評価。
栗原委員	c-	—	福崎委員	d+	用地取得については予定通り進行している。 予算だけでは進まない問題である「住民との協議・合意形成」が、やはり進んでいない。プランに掲載して重点事業となったが、打開策はあるのか。
須藤委員	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 事業の遅延によりc評価。</li> <li>2. 長年の懸案の難事業であり、粘り強い取組みによる実現を期待。</li> </ul>	星野委員	c-	目標に遅れが生じていると評価します。
高木委員	C	目標が未達成であるため。現地訪問をさせていただく中で、大宮駅東口再開発は市の活性化に重要な役割を担うのだと感じました。多くの複雑な課題や問題がありますが、是非力を入れ良いまちづくりを実現していただきたいです。	町田委員	c-	都市計画が制定されていないため予定を大きく遅れていると評価。 過去の経過や地域性など、多くの問題が内在することです。先を急ぐあまり感情のしこりがあっても問題となります。環境・生活・自然など多岐に渡る影響を考慮し、制定・整備することが目的とならないよう効果的な施策としていただきたい。
高島委員	C	内部評価と同じ理由です。	三浦委員	c+	工程は明らかに遅れているが、実施的な事業課題クリアーのための様々な努力と工夫の積み重ねが見られる。

《ヒアリング対象外事業(16事業)》

宣言・分野	No.	倍増プラン事業名	平成21年度達成度		平成22年度達成度		平成23年度達成度	
			外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価
I 行動宣言	I-1	マニフェスト検証大会を毎年開催。(4年以内)	外部評価 b		外部評価 b		外部評価 b+	
			内部評価 b+		内部評価 b+		内部評価 b+	
	I-2	タウンミーティングを全10区で計40回開催。(4年以内)	外部評価 b		外部評価 b		外部評価 b	
			内部評価 b		内部評価 b		内部評価 b	
	I-3	現場訪問を400回実施。(4年以内)	外部評価 a		外部評価 b		外部評価 b	
		内部評価 a		内部評価 b		内部評価 b		
	I-4	学校訪問を全校実施。(4年以内)	外部評価 b		外部評価 b		外部評価 b	
		内部評価 b		内部評価 b		内部評価 b		
	I-5	職員との車座集会を100回開催。(4年以内)	外部評価 b		外部評価 b		外部評価 b	
		内部評価 b		内部評価 b		内部評価 b		

《ヒアリング対象外事業(16事業)》

宣言・分野	No.	倍増プラン事業名	平成21年度達成度		平成22年度達成度		平成23年度達成度	
			外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価
II 条例宣言	II-1	市長任期を3期までとする、多選自粛条例を制定します。(すぐ)	外部評価 C+	内部評価 C	外部評価 d	内部評価 d	外部評価 d	内部評価 d
	II-2	生涯スポーツを推進し、スポーツを活用した総合的なまちづくりを推進する「さいたま市スポーツ振興まちづくり条例」を制定します。(すぐ)	外部評価 b	内部評価 b	外部評価 b-	内部評価 b-	外部評価 b-	内部評価 b-
	II-3	障がい者も健体者も共に地域で暮らせるノーマライゼーション条例を制定します。(すぐ)	外部評価 b+	内部評価 b+	外部評価 b	内部評価 b	外部評価 b	内部評価 b+
II-4	一人ひとりの子どもが輝くために「子ども総合条例」を制定します。(2年以内)	外部評価 b	内部評価 b	外部評価 c	内部評価 c	外部評価 b	内部評価 b	
II-5	「文化都市創造条例」を制定します。(2年以内)	外部評価 C	内部評価 C	外部評価 C	内部評価 C	外部評価 b	内部評価 b	

《ヒアリング対象外事業(16事業)》

宣言・分野	No.	倍増プラン事業名	平成21年度達成度		平成22年度達成度		平成23年度達成度	
			外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価
II 条例宣言	II-6	さいたま市の憲法「自治基本条例」を市民参画で制定します。(3年以内)	外部評価		外部評価		外部評価	
			内部評価		内部評価		内部評価	
	II-7	他市に類をみないスピードで進む高齢化に備えて「安心長生き条例」を制定します。(4年以内)	外部評価		外部評価		外部評価	
			内部評価		内部評価		内部評価	
2 市民・自治	14	区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。(すぐ)	外部評価		外部評価		外部評価	
			内部評価		内部評価		内部評価	
	16	大学コンソーシアムの仕組みを構築します。(4年以内)	外部評価		外部評価		外部評価	
			内部評価		内部評価		内部評価	

《ヒアリング対象外事業(16事業)》

宣言・分野	No.	倍増プラン事業名	平成21年度達成度		平成22年度達成度		平成23年度達成度	
			外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価
8 地域間 対立を 越えて	61	地下鉄7号線延伸は、経済性などを十分に考慮し、まちづくりと連動させて推進します。(4年以内)	外部評価		外部評価		外部評価	
			b		b-		b-	
			内部評価		内部評価		内部評価	
				b	b	b-		
	62	市庁舎のあり方は、地域的対立を越えた視点から、市民の声を聞きながら検討します。(4年以内)	外部評価		外部評価		外部評価	
			b		b-		b	
内部評価			内部評価		内部評価			
			b	b-	b			

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行動宣言	I-1	マニフェスト検証大会を毎年開催。	4年以内	・平成21年度から平成24年度までの「しあわせ倍増プラン2009」の達成状況を、毎年度1回開催する市民参加による検証大会において検証します。	①市民評価委員会の開催により、全項目について外部評価を実施 ②市民評価報告会開催（10月頃）	①市民評価委員会を10回開催し、全項目の外部評価を実施した。 △市民評価委員会を前倒しし、予算等に反映 ②市民評価報告会1回開催（10月15日開催） 参加者約130名	b+	・平成23年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので、「b」と判断。市民評価委員会開催に当たって、時期を前倒しし、予算等に反映できたことを加点評価した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	予定通りと判断。
河西委員	b	多数の事業が取り組まれていて、それぞれの事業が立てにも横にも斜めにも繋がっているのだなおもいました。
木島委員	b	目標通りの進捗。 但し、市民評価報告会への参加者数、参加者の範囲（職業など）を上げるための取り組みが必要と考える。
栗原委員	b+	—
須藤委員	b+	1. 標準どおりの進捗と判断。 2. 報告会の参加者もますますであり、市民評価委員会の前倒し開催→次年度予算への反映を加点。
高木委員	b+	市民評価委員会を前倒しし、予算等に反映したことを加点評価した。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	b	工程表通りの作業実績である。
橋本委員	b+	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。 予算編成に“声”が届くのは大変良いことだと思います。
廣瀬委員	b+	予算への反映について加点
福崎委員	b+	—
星野委員	b+	目標通りの進捗と評価します。予算等に反映した件を加点評価。
町田委員	b	継続しての評価委員会の開催は予定どおりと評価する。 評価した内容が今後の市民の参加を促せるか、また行政が市民に身近に感じられようようになるかを見守っていきたい。検証大会などの様子を、インターネットネット回線による中継や意見集約など広く市民に意見を問う方法もできると思う。
三浦委員	b	工程通り進捗した。 予算反映は目標のうちと判断して、特に加点評価はしない。



## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行動宣言	I-2	タウンミーティングを全10区で計40回開催。	4年以内	・平成24年度末までに、市民の声を迅速に市政に反映するため、市民と市長が直接対話するタウンミーティングを計80回（各区分2回）開催します。	・タウンミーティング20回開催（累計60回） 前期（5～7月）10回開催 後期（9～11月）10回開催	・タウンミーティング20回開催（累計61回） 前期（5～7月）10回開催 後期（9～11月）10回開催	b	平成23年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので、「b」と判断。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	回数が予定通りと判断。	長野委員	b	工程表通りの内容である。
河西委員	b+	参加人数を絞ったことは直接に意見の交換にはとてもよいことだと思います。ただ今後、タウンミーティングに参加する市民が限定され一部の市民に限られてきたり、市政に感心が薄い市民が増えたりしないように市民の関心をひく工夫も必要と思います。	橋本委員	b	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。課題にあったように市民の声を反映させる仕組みは急務であると思います。
木島委員	b	目標通りの進捗。 今後はこのプランの本質的な目標である市民の声がどのように市政に反映されたか、ということが分かる目標設定、評価にできるとなると良い。	廣瀬委員	b	工程表通りに実施していることは評価できる。それによって何が得られたかについての説明がなされるべき時期になっているのではないかと。
栗原委員	b	—	福崎委員	b	—
須藤委員	b	標準どおりの進捗と判断。	星野委員	b	目標通りの進捗と評価します。
高木委員	b	工程表通り進捗したため。	町田委員	b	予定どおりの開催数として評価します。 ここで得た意見をどのように反映したのか、その内容を公開して市民との協働で施策を展開することが重要だと考えます。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。	三浦委員	b	工程通り進捗した。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行動宣言	I-3	現場訪問を400回実施。	4年以内	・平成24年度末までに、現場訪問を400回実施し、現場の意見を市政に反映します。	①現場訪問を110回実施	①現場訪問を113回実施（累計327回）	b	・平成23年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので、「b」と判断。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	回数が予定通りと判断。	長野委員	b	当初目標を満たす内容である。
河西委員	b+	ご多忙の中、清水市長の取り組み姿勢、目標達成の姿勢は感謝いたします。	橋本委員	b-	事業計画（工程表）のとおり、概ね進捗したと思いますが、NPOや企業訪問等の割合が少ない点をマイナスしました。
木島委員	b	目標通りの進捗。容易に達成できるプランとは思えず、達成のための努力が評価できる。それが故に、I-2タウンミーティング同様、今後は市民の声の市政への反映度を目標設定、評価にできるとなお良い。	廣瀬委員	b	工程表通りに実施していることは評価できる。それによって何が得られたかについての説明がなされるべき時期になっているのではないかと。
栗原委員	b	—	福崎委員	b	—
須藤委員	b	1. 標準どおりの進捗と判断。 2. 訪問先が特定分野に偏ることなく、多様な分野に及んでおり好感。	星野委員	b	目標通りの進捗と評価します。
高木委員	b	工程表通り進捗したため。	町田委員	b	目標回数とほぼ同数の回数のため予定どおりの進捗と評価します。 市長の積極的な活動とともに、それをどのように市政に反映したのかを説明することが大切なのだと思う。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。	三浦委員	b	工程通り進捗した。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行動宣言	I-4	学校訪問を全校実施。	4年以内	・平成24年度末までに、すべての市立幼稚園・小・中・高・特別支援学校で“絆”学校訪問を実施します。	訪問目標校数45校	訪問実施校46校 (訪問実施校累計125校)	b	・平成23年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので、「b」と判断。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	回数が予定通りと判断。	長野委員	b	工程表通りの内容である。
河西委員	b+	児童の興味関心を引くことは今後の市政に大きく影響することなので、清水市長の目標を上回る達成の取り組み姿勢に感謝いたします。	橋本委員	b	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。より充実した時間になるよう形式的だけではない取り組みに期待します。
木島委員	b+	目標通りの進捗。ただ件数を達成しただけでなく、生徒によるインタビューや学校ごとに異なる取り組みを聞くなど生徒に直接触れて声を聞く機会を広げていること、および重要な課題を抽出したことも評価し加点。課題に上げている「教職員やボランティアからの声を聞く必要がある」について、是非できるだけ早く実施して欲しい。生徒同様に声を聞いてあげる必要が多くなる方々と考えます。	廣瀬委員	b	工程表通りに実施していることは評価できる。それによって何が得られたかについての説明がなされるべき時期になっているのではないかと。
栗原委員	b	—	福崎委員	b	—
須藤委員	b	標準どおりの進捗と判断。	星野委員	b	目標通りの進捗と評価します。
高木委員	b	工程表通り進捗したため。	町田委員	b	目標予定回数のとおり実施したことで予定どおりと評価します。学校訪問をして何をどう幸せ倍増につなげるのかがよく理解されていないような気がする。市長との絆でなく、市民同士の絆にどうつなげていくのか。目的としての明確化が必要とも思う。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。	三浦委員	b	工程通り進捗した。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行動宣言	I-5	職員との車座集会を100回開催。	4年以内	・市民のための職員であるという意識改革を進めるとともに、職員個々の能力を最大限に発揮させるため、平成24年度末までに車座集会を100回開催します。	車座集会を30回実施する	車座集会を31回実施	b	平成23年度の数値目標、取組内容及び工程表等のとおり進捗したため、「b」と判断。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	回数が予定通りと判断。	長野委員	b	工程表通りの取り組みである。
河西委員	b	6%の変化なしは、車座集会は形式的ということなのか、ちょっと気になります。	橋本委員	b	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。 大変充実した活動であると判断できますが、その成果等が分かりにくいのが残念です。PR強化を！
木島委員	b	目標通りの進捗。	廣瀬委員	b	研修への応用などの展開につながり始めたことは評価できる。
栗原委員	b	—	福崎委員	b	—
須藤委員	b	1. 標準どおりの進捗と判断。 2. 市トップとの対話による経営方針の徹底、現場活性化に効果を認む。	星野委員	b	目標通りの進捗と評価します。
高木委員	b	工程表通り進捗したため。	町田委員	b	目標数値を予定とおりに実施したことで予定どおりと評価します。 わざわざ市長が中心となって車座集会を実施しなければ行政職員の能力を発揮できない現状に残念な気がする。しかし、役所の古い体質を壊し柔軟な発想や独創的な発想が職員から出るとは、体質改善にはかならずプラスとなると考える。継続してってもらいたい。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。	三浦委員	b	工程通り進捗した。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍增プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
条例宣言	Ⅱ-1	市長任期を3期までとする、多選自粛条例を制定します。	すぐ	・平成21年度中に、「さいたま市長の在任期間に関する条例」を制定します。	・条例案の再提出に向けて、内容や提出時期について検討する。	・★条例案の再提出時期を模索するも、具体的な動きや検討には至らなかった。	d	・平成21年度中の制定を目指して条例案を提出したが、否決され、内容と提出時期の検討が続いており、期日目標に遅れが生じているため、進捗度を「d」と判断。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	d	出来ないことと判断。	長野委員	d	前年度に引き続き、具体的な動きには至っていない。
河西委員	d	首長が6期も在任する自治体もあるようなので、何期までが適当かはわかりかねる部分があります。長になる人物の個性や人間性による部分が大きいので3期が妥当か否かわかりません。	橋本委員	d-	未達のため。事業進捗が出来ない理由等、理解しにくい点の説明が必要ではないか。具体的な動きや検討に至らなかった点をマイナス。
木島委員	d-	大幅遅延、かつ進捗させるための取り組みも不明のためd評価。 さらに、昨年度に引き続き遅延だが、評価委員会が提言した「遅延しているものに対する対策」が行えていないためマイナス評価。	廣瀬委員	d	—
栗原委員	d	—	福崎委員	d	プラン実現のためにどう取り組んでいるのか、説明がないように思う。プラン自体の見直し・廃止の選択はなかったのか。
須藤委員	d	1. 条例案再提出に進展が見られずd評価。 2. 議会の拒否反応が強いのであれば、議会で協議機関を作り検討してもらうのも良いのではないかと。	星野委員	d	目標に大幅の遅れが生じていると評価します。
高木委員	d	目標が未達成であり、取組状況に具体性がないため。	町田委員	d	達成できていない事実、また今後の見通しもたっていないため評価はdとします。 外的要因による問題ですが、この方針に賛同している市民の方々も多い。市長のみで達成できる問題ではないので、マニフェストに記載すべき内容かどうかは疑問がある。
高島委員	d-	「具体的な動きや検討には至らなかった」ため。	三浦委員	d-	何も動いていないように見えるので、最低評価とせざるを得ないと判断する。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
条例宣言	II-2	生涯スポーツを推進し、スポーツを活用した総合的なまちづくりを推進する「さいたま市スポーツ振興まちづくり条例」を制定します。	すく	・平成21年度末までに、「さいたま市スポーツ振興まちづくり条例」を制定します。	①具体的な施策を盛り込んだ「スポーツ振興まちづくり計画」の策定 ②（仮称）スポーツ振興まちづくり推進会議の設置 ③計画に基づく諸施策の展開	①さいたま市スポーツ振興まちづくり計画の策定 ②▼推進会議設置に向けた関係団体との協議 ③諸施策の展開に向けた関係所管課や関係機関との協議・調整	b-	・計画策定等の目標を達成することができたため「b」と判断しました。 ・推進会議の設置に至らなかったことから、減点しました。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	計画を策定と判断。
河西委員	b-	サッカー人気を活用するべきと思いつつ、サッカーに肩入れしすぎのいかなものかと思ったりもします。
木島委員	b-	スポーツ振興まちづくり推進会議が設置未達だが、関係団体との協議は行えたためマイナス評価のみとする。
栗原委員	b-	—
須藤委員	c+	肝心の運営母体である「推進会議」の設置が未了であるためc+とした。
高木委員	b-	スポーツ振興まちづくり推進会議の設置に至らなかったため減点評価した。
高島委員	b-	内部評価と同じ理由です。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	b	目標通り、計画は策定されるが、推進組織の設置は未達成。
橋本委員	c	2年続けて推進会議の設置ができなかったことは、大きなマイナスである。
廣瀬委員	b-	推進会議の設置に至らなかったことを減点。相手方のある調整事項だが、遅れの原因分析はできているのか。
福崎委員	b	条例の制定に終わらず、その後の具体的な取組みについても進捗をみてゆくのは、大事だと思う。
星野委員	b-	概ね目標通りの進捗と評価します。但し、推進会議の設置に至らなかったため減点評価。
町田委員	b-	計画策定ができたことより予定どおりと評価します。推進会議の設置もできていないことからマイナス評価とします。
三浦委員	b-	内部評価と同様と判断する。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c , d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
条例宣言	II-3	障がい者も健体者も共に地域で暮らせる ノーマライゼーション条例を制定します。	すく	・平成22年中に、障害者も健常者も共に地域で暮らせる 「ノーマライゼーション条例」を制定します。	①関連事業を再編し、さいたま市障害者総合支援計画を策定 ②障害者の権利の擁護に関する委員会を設置し、全部施行に向け差別事業にかかる指針等を作成 ③障害者施策推進本部を設置し、庁内アクションプランの作成 ④市民が障害者施策等について意見交換を行う場の設置	①・④障害者総合支援計画の策定 ②「障害者相談支援指針」の作成 ③障害者施策推進本部の設置、アクションプランを策定 △Jリーグの試合における手話応援の取組や区民まつりにおけるブラインドサッカーを通じた事業などの各種の周知啓発の取組	b+	目標に掲げた項目のほかに、市民会議参加メンバーや障害者団体の協力のもと条例の周知及び啓発に資する、Jリーグの試合における手話応援の取組や区民まつりにおけるブラインドサッカーを通じた事業など、各種の周知啓発の取組を進めた。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	予定通りと判断。
河西委員	b-	条例の制定は評価するべきだと思いますが、個人個人の感じ方や道徳心は統一しきれものではないので、今後の浸透による影響や変化に期待したいと思います。
木島委員	a	条例制定というプラン達成後でありながら、プランの一つとして実施するために目標をたて進捗させている点を大きく評価。とても重要な施策において、プラン本来の目標（障害者も健常者も共に地域で暮らせる）を推進できている。
栗原委員	b+	—
須藤委員	b	標準どおりの進捗と判断。
高木委員	b+	Jリーグの試合における手話応援の取組や区民まつりにおけるブラインドサッカーを通じた事業などの各種の周知啓発の取組を加点評価した。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	b+	当初目標にはなかった各種啓発の取組みを加点とする内部評価の判断は妥当と考える。
橋本委員	b	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。 各種の周知啓発の取組みは必須な取組みであり、今後も継続しなければならない。
廣瀬委員	b+	条例制定はすでに完了しているが、周知などの努力が展開されていることを評価
福崎委員	b+	—
星野委員	b+	目標通りの進捗と評価します。各種の周知啓発の取組みを加点評価。
町田委員	b	平成23年度の目標のすべてを実施したことで予定どおりと評価します。 条例の中身について自分も含め正しく理解できていないような気がする。理念はすばらしい。どこまで実行できるかは市民ひとりひとりの人権意識の向上がもっとも必要と感じる。
三浦委員	b	工程通り進捗している。 ただし、認知度が20%程度に留まっているのは、取組みの成果が思うように上がっていない指標となる。



## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
条例宣言	Ⅱ-4	一人ひとりの子どもが輝くために「子ども総合条例」を制定します。	2年以内	・平成22年度末までに、一人ひとりの子どもが輝くために「子ども総合条例」等を制定します。	①パブリックコメントの実施 ②条例等の制定	①意見募集の実施 ②さいたまキッズなCity大会宣言の策定	b	平成23年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり実施したことから、「b」と判断。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	c	費用対効果による。	長野委員	c	年度当初目標にある条例の制定には至らず。宣言についてのパブリックコメントはあるが、条例については実施されず。
河西委員	b-	子供家庭を守るセーフティネットはまだまだでなかなか難しいのではないのでしょうか。行政のこの取り組みを子供や困難な家庭がどう期待し、評価するのかはまだこれからのことだと思います。	橋本委員	b	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断いたしました。
木島委員	b	目標通りの進捗。	廣瀬委員	c	条例等の制定とされているが、大会宣言という「等」の策定によって目標達成と考えるのか。参照されている他自治体の条例と、本市の宣言との異同についての説明が必要ではないか。
栗原委員	b	—	福崎委員	b	—
須藤委員	c	当初目標の条例制定が「大会宣言」に後退しており、c評価とした。	星野委員	b	概ね目標通りの進捗と評価します。
高木委員	b	工程表通り進捗したため。	町田委員	b+	パブコメや条例制定に向けた具体的な施策など予定どおりと評価します。地域や社会などによる見守りによる子育てが足りない現代です。今後の施策に期待します。
高島委員	b	委員からの質問で「目標の②＝実績の②」との回答なので、工程表どおりとしました。	三浦委員	c+	「さいたまキッズなCity大会宣言の策定」は、条例等の策定に相当すると言えるのか。



## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
条例宣言	II-5	「文化都市創造条例」を制定します。	2年以内	・総合的かつ持続的な文化芸術振興を図るため、平成22年度末までに、「文化都市創造条例」を制定します。	条例の内容を検討した上で、9月定例会に提出し、条例を制定する。	平成23年12月議会で文化芸術都市創造条例が制定され、平成24年4月1日に施行されます。	b	条例が制定されたため、「b」評価としました。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	条例制定した事による。	長野委員	b	工程表通り、条例が制定された。
河西委員	b-	既存や惰性を打破していくのはなかなか難しいことだと思いますが、後悔先に立たずにならないように英断が必要なときもあります。	橋本委員	b	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断いたしました。
木島委員	b	目標通りの進捗。	廣瀬委員	b	条例が制定されたので時期の遅れはあるが概ね目標を達成したものと見える。
栗原委員	b	—	福崎委員	b	—
須藤委員	b	1. 文化面の取組立遅れが目立つ本市にとって、条例制定は一步前進。 2. アクションプランと具体的施策の実現を期待。	星野委員	b	概ね目標通りの進捗と評価します。
高木委員	b	工程表通り進捗したため。	町田委員	b	条例が予定どおり23年度に制定されたことで予定どおりとします。 広く市民に周知する広報活動が必要です。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。	三浦委員	b	工程通り条例案が議会に提案された。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
条例宣言	II-6	さいたま市の憲法「自治基本条例」を市民参画で制定します。	3年以内	・平成23年度末までに、「自治基本条例」を制定します。	①最終報告書とりまとめ(8月末頃) ②意見交換会等実施 ③ニュースレター2回発行 ④条例議案を議会へ提出(2月)	①最終報告書とりまとめ(2月) ②△意見交換会を10区で、出前意見交換会を11回実施 ③ニュースレター発行(2回) ④★議案提出に至らず	C+	・議案提出には至らなかったため「c」とした。 ・市民意見交換会等を数多く実施し、市民周知及び意見収集に取り組んだことを加点評価した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	C-	条例の必要性に問題を感じた事による。
河西委員	C+	どこに何に突っ掛かっているのかは意見交換会だみなさんお分かりのはずで、それだもなかなか進めないといった様子なのではないでしょうか。
木島委員	C	条例議案提出が未達
栗原委員	C	目標には意見交換会の回数が明記されていないため、当初目標以上の成果なのかどうか判断できません。
須藤委員	C+	多大な労力をかけ「最終報告書」がまとめられており、議会への速やかな上程と条例制定を期待。
高木委員	C+	条例議案提出に至らなかったため「C」とし、市民周知のための主な取組が良く行われていたので加点評価した。
高島委員	C	目標未達だが、達成に向け様々な取組みをしているので「C」とした。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	C+	多様な市民やステークホルダーとの対話の場を検討過程で設けたことは加点要素である。議案提出が為されなかったことで、進捗は工程表より遅れが生じている。
橋本委員	C-	未達のため。プラン期間の事業であり、よりスピーディーな取り組みが必要ではないか。内部評価の加点には同感である。
廣瀬委員	C	議案提出に至っていない。意見交換会はもともと予定されていた取り組みであり加点要素とはいえない。
福崎委員	C+	—
星野委員	C	目標に遅れが生じていると評価します。
町田委員	C	条例が制定されていないため遅れていると評価。条例を制定することでどのような保護法益が図れるのかを市民に周知することが必要です。
三浦委員	C+	内部評価と同様と判断する。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
条例宣言	II-7	他市に類をみないスピードで進む高齢化に備えて「安心長生き条例」を制定します。	4年以内	・平成23年度末までに、高齢者の生きがい、健康、福祉の充実などを総合的にまとめた「安心長生き条例」を制定します。	・条例の制定	・「中間報告」及び「答申」の策定を予定どおり完了 ・タウンミーティング（計10回）及び市民フォーラムの開催 ・条例案の2月定例会への提案及び可決	b	・全てのプロセスについて、当初計画どおりに進捗した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	予定通りと判断。	長野委員	b	工程表通りに条例制定に到った。
河西委員	b	健康な高齢者の力をどのように生かせるか、期待できる事業だと思います。	橋本委員	b	概ね事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。
木島委員	b	目標通りの進捗。	廣瀬委員	b	予定通りに条例化
栗原委員	b	目標に「制定」という言葉を使っているのに、実績に使わないのはなぜでしょうか？	福崎委員	b	—
須藤委員	b	標準どおりの進捗と判断。	星野委員	b	目標通りの進捗と評価します。
高木委員	b	工程表通り進捗したため。	町田委員	b	今年度中の制定にむけて実現化していることで予定どおりとします。 数々の法規制があるわりに、市民の周知度は低い。制約を付加することは制限させる権利も含むわけで、その結果について理解が浸透しているとは思えない。広報活動に期待する。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。	三浦委員	b	工程通り進捗した。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
市民・自治	14	区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。	すぐ	・平成21年度中に、区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた検討会議を設置します。 ・平成22年度中に、「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた基本方針」を策定します。	①「区民会議及び市民活動ネットワークの活性化に向けた基本方針」に基づく新体制に移行 ②市民活動ネットワーク相互の連携を進めるための交流会の開催	①新体制に移行し、地域の課題について協議を行いました。 ②広報活動を行うとともに、各区での交流会を開催しました。	b	数値目標等を達成することができたため「b」と判断しました。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	予定通りと判断。
河西委員	b-	各区の自立より連携した支えあいが必要ではないでしょうか。
木島委員	b	目標通りの進捗。
栗原委員	b	当初目標は達成されていますが、結果それが有効であったかどうかは疑問です。
須藤委員	b	1. 標準どおりの進捗と判断。 2. 各区毎に会議回数・交流会回数等に温度差がある点が気になる。
高木委員	b	工程表通り進捗し、目標を達成したため。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	b	工程表に沿った取り組みである。
橋本委員	b	概ね事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。
廣瀬委員	b	予定通りの進捗
福崎委員	b	—
星野委員	b	目標通りの進捗と評価します。
町田委員	b	予定していた事業において予定どおりの進捗と評価します。
三浦委員	b	工程通り進捗した。 ただし、平成22年度の基本方針策定が年度末ぎりぎりだったため、平成23年度の各区での取り組みは立ちあがり度で若干の混乱が見られた。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c , d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
市民・自治	16	大学コンソーシアムの仕組みを構築します。	4年以内	・平成23年度末までに、市内のすべての大学（近隣を含む）と調整を図り、「(仮称)さいたま大学コンソーシアム」を構築します。 ・平成24年度末までに、大学コンソーシアムと包括協定を締結し、各大学との間で特色あるプロジェクトを実施します。	①大学コンソーシアムの構築 ②市と大学コンソーシアムの間で包括協定を締結 ③特色あるプロジェクト(市と大学との連携事業)の創出	①大学コンソーシアムさいたまの設立(10月) ②市と大学コンソーシアムさいたまの間で包括協定を締結(10月) ③△11事業を実施し、12事業で連携を検討	b+	・数値目標等を達成したため「b」と判断した。 ・また、幅広い分野で連携事業を実施できたため加点した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	内容が解らないが、事業が出来たので。
河西委員	b+	この学生たちが今後のさいたま市を牽引する可能性も十分にあるので更なる発展を期待したいです。
木島委員	b	目標通りの進捗。
栗原委員	b+	—
須藤委員	b+	各大学の特長を生かした連携事業が展開されており、評価に値する。
高木委員	b+	工程表通り進捗し、目標を達成したため。連携事業が多岐にわたって実施していた点を加点評価した。このような事業は、学生の社会に対する意識レベルを高め、人とのつながりと視野を広げ成長出来る良い機会になると感じました。そのため、今後連携を検討している事業も是非実施し、さらに市と大学のつながりを深め事業の創出を図っていただきたいです。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	b	工程表通りの進捗であり、各所管課とのマッチングも各局にまたがる。ただし、当初目標にある「特色ある」の定義または価値判断基準が不明のため、加点要素とできるのか、判断できず。
橋本委員	b	概ね事業計画(工程表)のとおり、進捗したと判断しました。 他のしあわせ倍増プランの事業とシナジー効果がみられる点は評価できる。より横断的な取り組みを願います。
廣瀬委員	b+	連携事業の積極的な展開を加点要素と評価
福崎委員	b+	—
星野委員	b	目標通りの進捗と評価します。
町田委員	b	平成23年におけるコンソーシアムの設置、協定が結べたことで予定どおりと評価。
三浦委員	b+	内部評価と同様と判断する。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
地域間対立を越えて	61	地下鉄7号線延伸は、経済性などを十分に考慮し、まちづくりと連動させて推進します。	4年以内	・経済性などを十分に考慮し、まちづくりと連動させた上で、平成24年度末までに事業着手することを目指します。	①これまでの調査の取りまとめを行うため、県・市共同で第三者専門家による検討委員会を設置します。 ②社会経済情勢を踏まえ、事業リスク等に考慮し、鉄道事業だけでなく、まちづくりも合わせ総合的に検討します。 ③整備主体等との調整を開始します。	①県と共同で「地下鉄7号線延伸検討委員会」を開催し、調査のとりまとめ・評価を行いました。 ②検討委員会の結果について、市民への報告・意見交換を行いました。 ③▲整備主体との調整には入れませんでした。	b-	これまでの調査のとりまとめを行うことができたのでbとした。 ・整備主体等との調整に入れなかったことから減点した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b-	検討委員会での検討及び100年後を考えた時の需要予測を配慮すると当然と思う。	長野委員	b-	内部評価の判断は妥当と考える。
河西委員	c	事業をどのように取り組むのかは採算性を重視するか、住民の希望と利便性を重視するかです。時間がかかりすぎです。	橋本委員	b-	概ね、事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。 内部評価に準じて、マイナス評価としました。
木島委員	c	プラン当初の工程表にある整備主体・営業主体との調整・合意、および沿線自治体、関係事業者等との調整が遅延。	廣瀬委員	b	検討が進められその結果、ただちに整備主体と調整に入れる条件をみたくないことが確認されたので、減点要素とは判断せず、概ね工程表通りと評価。
栗原委員	b-	十分な検討をお願いします。	福崎委員	b	目標設定に、他のプランでも見られるような「何月までに」という設定があると良いと思う。 意見交換会への参加者数の説明があった。
須藤委員	b-	事業主体等との調整が開始されないためb-評価。	星野委員	b-	概ね目標通りの進捗と評価します。但し、整備主体との調整に入れなかったため減点評価。
高木委員	b-	整備主体等との調整に入れなかった点を減点評価した。鉄道事業をまちづくりに連動させ、是非市の活性化につなげて欲しいと思います。	町田委員	b	調査段階のための委員会を予定どおり開催したということで予定どおりと評価します。 具体的な決定には、市民合意や利権関係者との調整など、整備することが経済性や利便性、効率性など多くの要因を総合的に把握して有意義な施策としてもらいたい。
高島委員	c+	目標に遅れが出ているのでこの評価とした。	三浦委員	c	平成23年度の工程では、整備主体との調整・合意が最も重要な達成目標だったのではないかと。 内部評価で、「整備主体との調整にははいれませんでした。」とあるのは、明かな遅れと判断する。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第6回委員会：7月27日（金）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
地域間対立を越えて	62	市庁舎のあり方は、地域的対立を越えた視点から、市民の声を聞きながら検討します。	4年以内	・庁舎整備検討委員会を適宜開催して、各界・各層から幅広く意見を聴くとともに、議員による合併協定書の議論、行政による庁内検討会議での調査・検討、そして、市民参加による庁舎整備検討委員会での検討といったそれぞれの議論の積み重ねを踏まえ、社会経済情勢の動向等も見極めながら、総合的な視点で庁舎のあり方について検討を行います。	①庁内検討会議の開催（適宜開催予定） ②さいたま市庁舎整備検討委員会の開催（年度3回開催予定）	①2回開催 （平成23年11月17日、平成24年3月15日） ②2回開催 （平成23年11月28日、平成24年3月21日）	b	・予定どおり幅広く意見を聴取しながら検討することができたため、「b」と判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	庁舎整備ではなく政令市移行時の約束を守るべきと思う。	長野委員	b	概ね工程表の通りである。
河西委員	b+	みんなが住みたくなる街の象徴になりますように。	橋本委員	b	概ね事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。
木島委員	b	目標通りの進捗。	廣瀬委員	b	—
栗原委員	b-	—	福崎委員	b	費用をかけない資料作り、という視点。会議にもパワーポイントを使えばいいと思う。
須藤委員	b	標準どおりの進捗と判断。	星野委員	b	概ね目標通りの進捗と評価します。
高木委員	b	ほぼ工程表通り進捗したため。	町田委員	b	予定していた会議などが実施できた点では予定どおりと評価します。庁舎建築に限らず、市の施設について既存ストックの有効活用という点においても熟考をお願いしたい。庁舎を整備しなかったことで市民が受ける不利益を提示し、検討をすすめていただきたい。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。	三浦委員	b	内部評価と同様と判断する。